



2021.9.05

## ミラノサローネの2021年特別企画「supersalone」開幕！ リアルとデジタルの間でデザインが再び始まる

建築家のステファノ・ボエリと共同設計者のドリームチームがキュレーションし、425のブランド、170の若いクリエイター、39の“メーカー”による合計1,900以上のプロジェクトが展示されています。「supersalone」には、再起動、安全性、持続可能性という3つの解釈の鍵があります。さらに、リアルとデジタルの新しい次元を体験できる新しい機会でもあります。

9月5日から10日まで、1900以上のプロジェクト(出展ブランド、セルフプロデューサーのデザイナー、2020/2021年度卒の若手デザイナー)が、ロー・フィエラミラノ見本市会場の4つのパビリオン(全体で68,520 m<sup>2</sup>)に息吹を吹き込み、40人以上の著名な登壇者(建築家、イノベーター、ビジョナリー、起業家、アーティスト、政治家)を含む充実したプログラムが開催されます。また、ミラノ・デザイン・フィルム・フェスティバル(Milano Design Film Festival)との提携による多数の映画上映、イデンティタ・ゴローゼ(Identità Golose)が考案しイタリア料理会の偉大なる9人のシェフが演出する4つのフードコート、ADI/コンパッソ・ドーロ(ADI/Compasso d'Oro)の大規模な展覧会など、異なる分野間の接点を強調し、新しい展示形式を試み、来場者を惹きつけ、動機づけることを目的としたプログラムが用意され、卓越したデザイン都市のエンジンに再び火を入れることを目的としています。ミラノの街で、キュレーターのステファノ・ボエリ(Stefano Boeri)と、国際的な共同企画者であるアンドレア・カプート(Andrea Caputo)、マリア・クリスティーナ・ディデーロ(Maria Cristina Didero)、アンニーナ・コイヴ(Anniina Koivu)、ルーカス・ウェクウエイト(Lukas Wegwerth)、マルコ・フェラーリ(Marco Ferrari)、スタジオ・フォルダー(Studio Folder)のエリザ・パスクアル(Elisa Pasqual)、そしてステファノ・ボエリ・インテリアズ(Stefano Boeri Interiors)の共同創設者でありディレクターのジョルジオ・ドナ(Giorgio Donà)に託された待望のイベント、それが「Supersalone」なのです。

ミラノサローネ マリア・ポッロ代表のコメント:

「ミラノサローネの魅力は、企業や出展者の利益という本来の目標を見失うことなく、チームとして働き、実験し、時にはリスクを覚悟でもチャレンジできるということです。私自身もミラノサローネで、毎回、自問自答しながら、社会の変化を見つめ、課題を分析し、チャンスを探ることができました。常に視点を変えることが重要です。私たちが supersalone という



道を選んだのは、システムが衰え、ミランの価値が損なわれないように、型にはまらないようにしたからなのです。決して容易ではありませんでしたが、新しい道を選び、ブランドや製品の新しいビジョンを提供する機会を得たことは、私たちのデザインの力がいかに大きいかを示しています。文化的な伝統、創造性、産業や地域の革新的な能力を組み合わせることで、自信を持って未来を見据えることができるのです」。

### 【フォルマファンタズマ デザインのフレームで第一回マニフェストを大統領へ贈呈】

「supersalone」は、過去 18 ヶ月間に業界全体から生まれた最高の研究プロジェクト、製品、実験を集めて展示し、将来をしっかりと見据えることで、家具・デザイン業界が丸丸となって注目を集め、回復するための重要な機会となります。その重要性と象徴的な価値は、長年にわたって政府や機関の高官が出席してきたことで確認されています。イタリアのセルジオ・マッタレラ大統領は、企業、都市、地域の間には築かれた肥沃な関係のおかげで、この分野がイタリア経済の重要な原動力の一つであることを常に証明してきました。ミラノサローネでは、サローネ第 1 回(1961 年)のマニフェストを、デザイナーデュオ、フォルマファンタズマ(Formafantasma)がデザインし、若手建築家/職人のジャコモ・モーア(Giacomo Moor)、キャビネット職人のジジ・マレリ(Gigi Marelli) とジョルダノ・ヴィガノ(Giordano Viganó) が、フィエメ渓谷のヴァイアの嵐で倒れた松の木を使って製作した素晴らしいフレームに入れて大統領に贈呈します。

### イタリア家具工業連盟(FederlegnoArredo) クラウディオ・フェルトリン会長のコメント:

「2 年半ぶりに、イタリアのデザインが業界の最も重要なイベントに戻ってきました。このイベントは、パンデミックの困難にもかかわらず、昨年、何とか回復軌道に乗ったイタリアのデザインを支える重要な原動力となっています。木工家具のサプライチェーン全体の生産高は 390 億ユーロ、家具のマクロシステムは 210 億ユーロで、そのうち 110 億は輸出に充てられており、上半期は 2019 年比で 14.3%の成長を遂げ、特にイタリア市場で回復しています。私たちはサプライチェーンのために尽力し、業界、ミラノ市やイタリアのシステムのリーダーシップを再確認しました。連盟 (FederlegnoArredo) にとって、「supersalone」は制御と再起動の合図であり、2022 年のミラノサローネの布石として、国際化のプロセスと世界市場でのメイド・イン・イタリアの認知をサポートするものです。」

### supersalone キュレーター、ステファノ・ボエリ氏のコメント:

「ヴェネチア・ビエンナーレとともに、ミラノの supersalone は、イタリアの創造性と起業家精神の勇気と偉大な力に全世界の注目を集めました。私たちの歴史の中でまだ困難な時期に、「supersalone」は見本市や大規模な展示会の未来を予測し、企業と一般の両方に



開かれたイベントを提供しています。製品は展示されていますが、一部はオンラインで購入を予約することもできます。完全に再利用可能なセットアップと、豊富な芸術的・文化的貢献があります。長い冬が終わり、ようやく一筋の未来が見えてきました。」

### 【新型コロナウイルス感染予防対策】

この「supersalone」には、出展者、プロの来場者、そして一般の人々の**健康と安全**を守るという重要な責任感とともに、多大な努力が払われています。私たちは、新型コロナウイルス感染拡大防止のための組織的な側面、特に見本市会場のスペースを見直し、来場者の正しい行動のためのガイドライン(マスクの着用、ソーシャルディスタンス)、アクセスや動線の規制などに多大な努力と注意を払ってきました。「supersalone」への来場者には、保護された環境で安全に過ごすため、検温を実施し、「グリーンパス」や「EU デジタル COVID 証明書」の提示が求められます。

- ワクチン接種の証明書(初回接種から15日以内でも可)
- ウイルスから完全に回復していることの証明書(過去6ヶ月以内)
- または48時間以内に受けた検査(分子検査または抗原・即席検査)が陰性であること

のいずれかの証明書が求められます。EU デジタル COVID 証明書を所持していない来場者については、シェンゲン圏の国やその他の国が発行したグリーン証明書と同等の証明書、もしくは48時間以内に受けた検査の陰性証明が入場に有効です。

4つの即席抗原検査ステーション(東口 Porta Est/East Gate、南口 Porta Sud/South Gate、西口 Porta Ovest/West Gate、カーゴ1\_Cargo 1)が設置されており、希望者は22ユーロの即席抗原検査を受けることができます。これらの規定により、ミラノサローネは、初めての大規模なフィジカル見本市イベントが、できるだけ多くの人に開かれたものとなるよう、慎重かつ丁寧に基盤を築いています。

### 【持続可能性、再利用、リサイクル、循環性に配慮したイベント構築】

「supersalone」を支えるもう一つの大きなテーマは、**持続可能性の概念と、再利用、リサイクル、循環性の問題**です。このアプローチは、近年の危機以前と同じレベルの経済発展に戻るだけでなく、“より良い、より責任ある発展”を目指すという意味でも非常に重要です。イベント構築の戦略の一環として、材料の無駄を可能な限り削減するために、**レンタルと再利用**を優先しました。企業が利用できるスペースは、製品が際立つように設計されており、**支持構造物の使用は最小限に抑えられています**。アンドレア・カプートがデザインしたインスタレーション(商品カテゴリーごとにデザインされた長いパラレルセット)と、ステファノ・ボエリ・イ



インテリアズがデザインした共用エリア(フードコート、アリーナ、ラウンジ)の素材とコンポーネントは、すべて100%リサイクルされた木材から作られたチップボードパネル(1,230 m<sup>2</sup>)を使用して削減されています。このパネルは、循環型の観点から生産サイクルに戻され、大気中に排出される55万3,500kgのCO<sub>2</sub>を削減します。また、ラウンジエリア、ベンチ、椅子はすべて「乾式」で取り付けられており、会期後は分解し、再利用することができます。アリーナ、フードコート、展示セットなどの大きな構造物に関しては、展示の目的に合わせて再構成された、レンタル足場システムを選択しました。

「The Lost Graduation Show(幻の卒業制作展)」の展示セットを構成するブロックは、すべて再利用可能で、地元で調達された高温高压蒸気養生された軽量気泡コンクリート“Ytong”のモジュール素材で構成されています。また、ディスプレイに使用されている掛け布は、再利用しやすいように、印刷や着色はされていません。また、素材の無駄を省くために、「supersalone」では紙媒体のパンフレットや情報資料は作成しません。「イデンティタ・ゴローゼ」のフードコートでは、堆肥化可能なカトラリーや食器類を使用します。また、飲料エリアでは、プラスチックの使用を最小限に抑え、100%リサイクル可能なPETを使用します。「supersalone」のグリーンミッションを強調するために、ミラノサローネがForestami(フォレストアミ)に寄付した200本の木の一部は、東口Porta Est/East Gateと、パビリオン内に配置されます。これらの樹木は、会期後ミラノのParco Nordo(北公園)に植えられ、ミラノ首都圏の緑化運動に貢献します。

### 【ミラノサローネ・デジタルプラットフォーム】

「supersalone」の複雑な世界的状況を考慮すると、新しいミラノサローネ・デジタルプラットフォームが果たすべき役割は、イベントのユニークなDNAを再現し、その体験をオンライン化することです。QRコードが記されている展示品は購入予約することができ、展示会をバーチャルに訪問し、トークやディベートのライブストリーミングを世界のどこからでもフォローし、イベントの主人公の声や意見を生で聞くことができます。このプラットフォームのサービスや機能は、出展者と来場者の交流やフィードバックの機会を促進し、ビジネスと感動を非日常的なバーチャル空間で実現します。

### ロンバルディア州知事、アッティリオ・フォンタナ氏のコメント:

*「ミラノサローネは、ロンバルディア州の卓越性と企業の絶対的なシンボルとして位置付けられています。創意工夫と職人技と産業の融合なのです。創造性と研究開発への投資に*



より、私たちの企業は、雇用の面でも国全体の戦略分野であるデザイン・家具システムを牽引しています。今日、この歴史的な瞬間に、このような国際的な規模のイベントを開始することは、象徴的な観点からも、より大きな意味を持っています。ロンバルディア州は、国全体の原動力となっています。これまでも、そしてこれからも、競争が激化する市場に対応するためのトレーニングやトップレベルのスキルの向上をサポートする機関が、それぞれの役割を果たしています。ロンバルディア州は、『美』からさらに強いイタリアを築くことができるという信念のもと、ミラノサローネとデザインシステム全体をサポートしています。」

### 【The Lost Graduation Show(幻の卒業制作展)】

イノベーション、環境への配慮、クリエイティビティ、文化交流、デジタル体験などが「SUPERSLONE」のキーワードです。このイベントでは、実験と相互汚染のハブ、出会いの場、新しい機会を提供します。それを証明するのが、アンニーナ・コイヴ氏がキュレーションする「The Lost Graduation Show(幻の卒業制作展)」で、22カ国48のデザインスクールから2020年と2021年に卒業した学生による170のプロジェクトが展示されています。

### 【Makers Show】

世界中から集まったセルフプロデュースのデザイナーが展示されています。工房、スタジオ、ラボ、スタートアップなど、デザインと実験、新しい生産技術、素材の研究を融合させて、自分たちの手でモノを作り上げるデザイナーたちが登場します

### 【Take Your Seat / Prendi Posizione – Solitudine e Convivialità della Sedia】

ニーナ・バッソリがキュレーションし、ADI / コンパツツ・ドーロ賞とのコラボレーションにより、受賞作品30脚の椅子と、選外佳作を受賞した100脚以上の椅子を取り上げ、グッドデザインの重要性を誰よりも理解している、最も象徴的なデザインオブジェクトのストーリーを紹介しています。

### 【TALKS|オープントーク】

マリア・クリスティーナ・ディデロ氏による「supersalone」プログラムのオープントークでは、世界中から集まったデザイナー、建築家、アーティスト、学者、経営者たちが、デザイン、アート、建築、教育、循環型経済、環境への影響、デザインとキュレーションの関係など、さまざまな疑問に答えるべく、会話や討論、トークを繰り広げます。

### 【ミラノデザイン映画祭とのコラボレーション】



5 つの映画が上映され、デザインや建築のプロジェクトの背後には、私たちの生活を向上させたいという個人的または集団的な願望が常にあることを示します。

### 【フードコート】

「supersalone」は、**イデンティタ・ゴローゼ・ミラノ 国際ガストロノミー・ハブ**や、伝統的な Salone del Mobile.Milano のパートナー (S.Bernardo、Ca' del Bosco、illycaffè) とともに、異なる領域や言語間のクロスコンタミネーションにも取り組んでいます。フードコートは、「supersalone」のために作られた新しいオーダーメイドのコンセプトであり、来場者の体験の重要な一部として、イタリアの偉大なシェフや職人のオリジナルレシピを味わう機会を提供します。

### ミラノ市長、ジュゼッペ・サラ氏のコメント:

*「supersalone が成功したかどうかは、イベントの数字を待つまでもありません。非常に複雑な時代に開催されたからこそ、成功したのです。一部の人の不信感をよそに、多くの人の最高のエネルギーを結集したことが成功の要因です。それは、ミラノが復興のシンボルとなり得ることを世界に示したからです。今回の特別展が開催されたことで、ミラノを訪れた人々は、多くの地区でインスタレーションやイベントが開催されるミラノデザインウィークの雰囲気に入ることができます。これは私たちの誇りであり、何よりも、このイベントへの参加を具体的に示すものです。このイベントは、家具業界に依存する中小企業や若手デザイナーのスタジオ、スタートアップ企業にとって、業界の再出発の刺激となり、成長の原動力になると確信しています。」*

### 【il Salone / la Città (イル・サローネ/ラ・チッタ) トリエンナーレで開催】

最後に、9 月の特別なイベントで復活するもうひとつの伝統として、ミラノサローネはミラノ市との深い結びつきを強調し、アイデア、文化、創造性の交流にますます開かれた精神でトリエンナーレ・ミラノとの連携を新たにしています。ミラノサローネのためにトリエンナーレのイタリア・デザインミュージアムが企画した展覧会プロジェクト「il Salone / la Città」を開催します。この展覧会では、サローネが長年にわたってミラノで開催してきた文化的なイベントを探り、デザインをそのファンの大群に近づけてきました。ミラノ・トリエンナーレとミラノサローネのアーカイブを活用した素晴らしい展覧会です。

### イタリア大使館貿易促進部 代表、カルロ・フェロ氏のコメント:



「2年以上の歳月を経て、イタリアのデザインは再びミラノで最も重要で国際的なイベントを取り戻すことができました。パンデミックにもかかわらず回復を成し遂げ、パンデミック前と比較しても成長している部門の原動力となっています。この成功は、貿易促進部のプログラムに選ばれた国際的なオペレーターの数にも表れています。このプログラムには、世界中から約250人のバイヤーがミラノに集まり、同数の国際的なプレス関係者も参加します。」

「supersalone」

日程:9月5日(日)~10日(金)

場所:ロー・フィエラミラノ

時間:10:00~19:00(金曜日:10:00~16:00)

会期中通して一般公開

一般入場券:入場券の販売はオンラインのみ。

価格:15€

プレスお問い合わせ先:

山本幸 Yuki Yamamoto

yuki@milanosalone.com

[milanosalone.com](http://milanosalone.com)

International press info:

Marva Griffin - Patrizia Malfatti

info@salonemilano.it